



早川 貴光 議員
(未来の佐野を明るくする会)

「強く優しいまちの創造」についてのロールモデルを示すという具体的な内容について

Q 若者や女性が希望を叶え、いきいきと活躍できるロールモデルを示すとともに、企業や地域社会と連携し、若者や女性視点による社会環境の整備を図っているが、このロールモデルを示すという具体的な内容について伺いたい。

A まずは事業者、企業等に対して、若者や女性にとって「働きがい」や「働きやすさ」のある職場づくりに取り組んだ事例等をロールモデルとして紹介することが重要であると考えています。

さらに、市内の若者や女性、経営者などが、ワークシoppを通して、働き方の課題に取り組み、働き方の理想像や魅力ある職場の実現を目指すことが、市内に向けてロールモデルを示すことになると考えています。

こ こ が 聞 き た い

6月定例会一般質問



鶴見 義明 議員
(日本共産党議員団)



こども誰でも通園制度について

Q こども誰でも通園制度の課題として、小さい子供が慣れる間もなく泣きっぱなしで1日が終わるなど、多くの懸念がある。

国からまだ詳細が示されていない内容も多いが、そういう中で試験的に実施するということで、様々な課題があると思う。市として、こうした通園制度の課題として懸念することがあれば伺いたい。

A こども福祉部長

現時点で課題と捉えていることは、1か月当たりの利用時間が10時間までと制限がありますので、子供や保護者、保育士にとっても慣れるまでに時間がかかる可能性もあることから、保育の質を確保することや、利用希望者のニーズを把握し、利用希望者数に応じて実施施設の数を検討する必要があるものと考えています。

その他の質問

☆マイナンバーカードについて



慶野 常夫 議員
(政友みらい)



本市における鳥獣被害について

Q 吾妻地区では、昨年から今年にかけてイノシシの出没情報が数回あり、また今年5月には猿3匹の目撃情報があったが、本市の認識について伺いたい。

A 産業文化スポーツ部長

イノシシについては、昨年度から出没状況が寄せられ始め、農地の掘り起こしや農作物などへの被害を把握しています。猿については、議員ご指摘のとおり、今年になって目撃情報が寄せられたところです。恐らく群れからはぐれたものと推察しています。

イノシシの捕獲を強化するため、新たに捕獲わなを1基設置し、既存のわなと併せて、現在7基設置しています。猿に関しては、目撃者に対し、今後猿を目撃しても近づかず、刺激を与えないことや、誘引物として果樹等の餌になるものが放置されないよう注意喚起を行いました。

その他の質問

☆佐野新都市行政サービスセンターについて
☆育児と介護を同時に行うダブルケアについて

